

平成 31 年度

前期日程

小論文 (40分)

注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
- 2 監督者の指示に従って、解答用紙の該当欄に志望コース名及び受験番号を記入しなさい。
- 3 解答用紙の※を付した欄には、何も記入してはいけません。
- 4 解答は、小論文解答用紙を用い、400 ～ 500 字以内にまとめなさい。
- 5 選択解答する課題の番号を解答用紙の選択課題番号欄に必ず記入すること。

(例)

選択課題番号
1

- 6 解答は、解答用紙の指定された欄に記入しなさい。
 - 1) 解答は横書きで、文字はていねいに、はっきり書くこと。
 - 2) 句読点は、1字として1マスに入れること。
 - 3) ローマ字、数字を使用するときは、マス目にとらわれなくてよい。
 - 4) 改行はしないこと。
- 7 下書き用紙は回収しますが、採点は解答用紙のみで行う。
- 8 試験終了後、この問題冊子は持ち帰りなさい。

小論文課題

次の3つの課題から1つを選択して解答すること。

- (1) 現在、我々が利用している工学的な技術を1つ例に挙げ、約10年前からどのような技術革新が起こり、それが社会にどのように反映されているかを述べなさい。さらに、約10年後には、その技術がどのように進歩していると想像されるかを論述しなさい。
- (2) 大規模な災害により、地域の広範囲に渡る停電が生じることがある。このとき、市民生活にどのような障害が生じると考えられるかを述べなさい。また、その障害の回避に向けて、電源供給を行うシステムを構築するとき、どのような課題を考慮すべきであるか、あなたの考えを論述しなさい。
- (3) 情報を取り扱う機会が圧倒的に増え、その科学的理解と活用がより重要になってきた。インターネットを用いて得た情報を研究に活用する場合、その利点と注意点についてあなたの考えを論述しなさい。